

弥生三月、年度末です。

学校では、大学入試、高校入試もほぼ終了し、学年末の成績や卒業式のシーズン、旅立ちの季節です。北国はまだ雪が残っていますが、南の地方では、早咲きの桜もちらほら。花粉症のつらい時期の始まりでもあります。

そんな季節、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

---

【 1 】 最新活動報告

2月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

---

【 1 】 最新活動報告

---

2月に行われた部会の様子を報告します。

■ ワークショップ川口を開催しました。

日時：2015年2月14日（土）13時00分～16：00分

場所：埼玉県川口市立仲町中学校 会議室

内容の概略：

大杉昭英先生（国立教育政策研究所）の講演と三枝利多先生（目黒東山中）の授業提案がありました。地元埼玉の先生だけでなく、東京などから42名の先生方関係者の参加がありました。

大杉先生の講演は「分かりやすい経済の授業」のタイトルでおこなわれました。先生は、社会科で求められているキーコンピテンシーの開発のための授業づくりのヒントを5つの問いを先生方に投げかけながら進められました。

三枝先生は、「経済の授業の進め方」の講義と授業提案をされました。敬遠されがちな経済の授業を進めるためにシミュレーション型の授業が有効であること、その例として「家計のシミュレーションゲーム」を先生方のグループが実際にやってみることで実感するという授業提案をされました。

両先生とも、講義だけでなく参加の先生たちとの問答、シミュレーションの実践などワークショップにふさわしい展開をされて、充実した研究会となりました。当日の内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

[http://www.econ-edu.net/activity/ws/WS201502Kawaguchi\\_report.pdf](http://www.econ-edu.net/activity/ws/WS201502Kawaguchi_report.pdf)

■京都部会 (No. 28)を開催しました。

日時：2015年2月20日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

内容の概略：参加者8名

(1) 篠原総一代表から今年8月に実施される「先生のための夏休み経済教室」の日程やプログラム、名古屋での「先生のための冬の経済教室」と名古屋部会の発足の紹介、「経済教育ワークショップ川口」の報告がされました。

(2) 前回に引き続いて、大谷和海先生(関西大学中高部)と下村和平先生(山城高校)から高等学校で出題された政治・経済の試験問題が紹介され、生徒に経済のしくみを教える際に先生方が直面する難しさが話し合われました。

特にその中では、銀行預金など日常生活で経験していない事柄をいかに教えるか、金融や財政のしくみを教える場合の工夫の必要性などの話題が出されました。

また、教科書を読まない生徒が多いため、試験前に教科書から出題するとアナウンスして問題を作成しているなどの報告もありました。

当時の内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto028report.pdf>

■大阪部会 (No. 42)を開催しました。

日時：2015年2月28日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング17階

内容の詳細はまとめ次第HPにアップいたします。

■先生のための冬の経済教室を開催しました。

日時：2015年1月31日(土) 13時00分～16:30分

場所：椋山女学園大学現代マネジメント学部棟2階205講義室

前回のメールマガジンで内容は案内済みですが、HPに

梶ヶ谷穰先生(神奈川海老名高)の報告、金井 司氏(三井住友信託銀行CSR担当部長)篠原代表のレジュメも掲載しました。

以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/2015%20Nagoya%20Fuyukeizai/20150131.html>

---

## 【 2 】 イベントカレンダー

---

\*これからのイベントを開催順に紹介します。

■年次大会を開催します。今年は東京です。

日時：2015年3月28日（土）

場所：日本大学経済学部（7号館2階講堂）

テーマ：法教育と経済教育の対話④一年金問題をどう教えるかー

中川雅之先生（日本大学）をコーディネータとして、

経済学者（法政大学・小黒一正先生）、法学者（早稲田大学・菊池馨実先生）、

現場教員（津田沼高校・杉田孝之先生、大阪狭山南中・奥田修一郎先生）の

問題提起とパネルディスカッションを予定しています。

小黒一正先生は、法政大学経済学部准教授で公共経済学がご専門、

菊地馨実先生は、早稲田大学法学学術院教授で社会保障法の専門家です。

4回目を迎える法と経済の対話です。生徒たちが明日の社会のしっかりとした

担い手となるために、社会保障のなかでも年金問題に関して、どのように正確な

情報や考え方を提示してゆくべきかという現場の問いかけを、経済と法の専門家を

まじえて深めてゆきたいと考えています。

社会保障の教育、特に年金問題をどうとらえ、どう教えてよいか迷われている

中高の先生方の参加を期待しています。また、法教育と経済教育の関連に関心を

持たれている先生方もぜひご参加ください。

参加方法や内容の概略は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/20150328symposiumR3.pdf>

\*これからの部会を開催順に紹介します。

■東京部会（No. 73）を開催します

日時：2015年3月10日（火） 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部 本館2階 中2会議室

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo073flyerR.pdf>

■名古屋部会（No. 1）を開催します

日時：2015年4月11日（土） 16時30分～18時30分

場所:金城学院大学サテライト

名古屋市中区錦三丁目 15 番 15 号 C T V 錦ビル 4 階

(セントラルパーク地下街 10A 出口前)

参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya001flyer.pdf>

■京都部会 (No. 29) を開催します

日時: 2015 年 4 月 17 日 (金) 19 時 00 分~21 時 00 分

場所: 同志社大学 良心館 4 階第二共同研究室

参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto029flyerR.pdf>

■札幌部会 (No. 13) を開催します

日時: 2015 年 5 月 16 日 (土) 14 時 30 分~17 時 00 分

場所: キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 番地

参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo013flyer.pdf>

---

### 【 3 】 授業のヒント

---

■最後の授業・最後のテスト

三月は年度末。一年の総決算です。授業でも同じことが言えます。そこで今回は最後の授業、最後のテストを話題にしてみます。

四月の授業開きの時には、こんなことを学んでほしいとかこんな人になってほしいなど大きな希望をもって生徒に語りかけます。一年やってきてその希望や理想はどうなったでしょうか。それを確認するのが最後の授業です。

とはいえそんなに張り切って総括をしなくともよいかもしれません。生徒に一年間いろいろ教えたけれど、君の頭やこころに残っているもの（言葉、概念、理論など）は何？とひとりずつ聞いてみるとよいでしょう。

そんな時間は無いし、何を言われるかわからないし、「別に」なんて言われたらショックだし、という向きには、最後のテストで「一年間授業でやったことで、10 年後にあの時どんな授業だったと聞かれたときに答えられるものは何？そしてその理由は？という問いを 10 点配点くらいで入れたらいかがでしょうか？採点は、何か書いてあれば内容を問わず満点。あとは字数によって減点で良いでしょう。

この話は、実は川口のワークショップで大杉昭英先生が、参加の先生になげかけた問いの一つでした。その時の大杉先生の問いは「生徒につたえたい概念や理論を

一つだけ挙げてください。その理由も」というものでした。

学校では授業評価を定期的に行っていますが、本当の授業評価はこんな問いかけにあるのかもしれませんが。(新井)

---

#### 【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

---

「あれから 40 年」というのは綾小路きみまろのおはこのセリフです。まさにこれに該当するのが編人です。「ぼくはマルクス主義者です」と自己紹介をする生徒に迎えられた教員生活もカウントダウン。今の生徒に歯がゆさを感じつつも時代の流れの中の産物だと思うこのごろ。学校や教育から完全に離れるわけではありませんが、新たなステージから経済教育に取り組みたいと考えています。(新井)

=====  
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇